

村政のここが聞きたい!

緊急銃猟や鳥獣被害防止対策について

住民の命を守るため警察や消防への特殊車両の出動要請について
 村長 / 産業観光課長
 関係機関との協議を進めています



問 緊急銃猟や鳥獣被害防止対策による物損・人身事故の補償への備えはどうなっていますか。

答 緊急銃猟における物損事故については実施主体である市町村が損失補償をします。人身事故については国家賠償を行うため地方自治体向けに新しく開発された保険商品への加入を想定しています。鳥獣被害防止対策については実施主体は狩猟従事者となり、その損害補償についてはハンター保険で賄うためハンター保険への加入が実施されています。

問 「クマ被害対策施策パッケージ」(令和7年9月11日クマ被害対策等に関する関係省庁連絡会議概要)によると、関係省庁に総務省、消防庁、防衛省は含まれていません。「出没時の緊急対応」として「都道府県・市町村等と連携した出没時の安全確保」(警察庁)との記述がありました。緊急銃猟の現場における長期戦や、起こりうるあらゆる事態を想定した避難や応急手当てのための救護、待機等、いざとなったら逃げこめる安全な空間確保のためにも機動隊の人員輸送バスなどの特殊

問 車両の出動要請が可能か。玉川警察本部へ問合せたところ、東秩父村を管轄する小川警察署を窓口として、長からの依頼や状況に応じて、警察が保有する車両の出動は可能ですが、空間確保等を想定した場合、移動交番(車)もあり、移動交番(車)もありません。玉川警察本部生活安全部保安行政係。救護・医療機関への移送に大きく関係する。救急車、そして災害時における防災トイレルの機能を持つ特殊車両の出動にも、同様に問合せたところ「現場の状況に応じた様々な支援車両があり、複数の救急車を待機させることも可能です」とのことでした。このように特殊車両を単独で購入することは現実的ではありません。警察が保有する特殊車両の出動要請について村長の見解はいかがですか。



ツキノワグマの手の写真

答 人々の命と安全を守るため警察車両の出動要請についても想定していきます。

村長と和紙の里社長の兼任は問題

和紙の里および周辺事業について
 村長 / 産業観光課長
 収益が低い中、兼任は次善策



問 和紙の里に関連する施設等の整備の際、株式会社東秩父村和紙の里と東秩父村での支出金額の取り決めはどうなっていますか。

答 税抜き10万円未満の費用は和紙の里、それを超える費用は村負担です。

問 令和6年度まで村の観光ターミナルサポートセンター運営事業の人員費が、7年度からは商工振興費として和紙の里関連施設指定管理業務委託料に組み込まれ、詳細が分からなくなりました。ターミナルサポートセンターの現状を村では把握していますか。

問 株式会社東秩父村和紙の里は、出資比率東秩父村90%、東秩父村商工会10%の第三セクター法人です。利益相反、行政と第三セクターとの関係が不明瞭になる、監視が難しくなる等の可能性から、村長と和紙の里社長の兼任は望ましくありませんが、村としての

答 見解は。和紙の里は本村の観光および手漉き和紙文化保護育成の拠点で、公共性も鑑み、会社の経営方針と村の施政方針の整合が求められます。人員費が限られる中でそのような条件を満たせる民間の人材を見いだすのは難しいため、村長が社長を務めることが次善の策と考えます。

問 村長と社長の兼任が続いていけば利益相反の構造も続いていくことになり、「足りない」ところは村が持つ」という在り方では、いくら公共性が高いと言ってもどちらにも締める場所がなくもなりません。社長としてのご尽力されるほど、村長としての客観性からは離れた里にお勤めの方々の話合いは進められていないのでしょうか。

答 支配人が12月末で退職されるので、以前勤めていたことがある方を仮に副支配人に、会計は以前退職された方に再入社していただき、現段階では今までの効果も期待していません。社長としても細かい点は指導していく考えです。